介護情報基盤における「包括同意」Q&A
イラストで紐解く、新しい同意の仕組み



Gemini Notebook

Q 「包括同意」とは何ですか？

一度の同意で、現在と将来の情報を
継続して共有できる仕組みです。
事業所ごとに個別の同意を取る手間がなくなります。 A



Gemini Notebook

Q 新しい同意の仕組みは、いつから始まりますか？

A 令和8年（2026年）4月1日以降の申請から始まります。

新しい様式の申請書で同意を取得します。令和8年3月以前の旧様式での同意は、包括同意にはなりません。

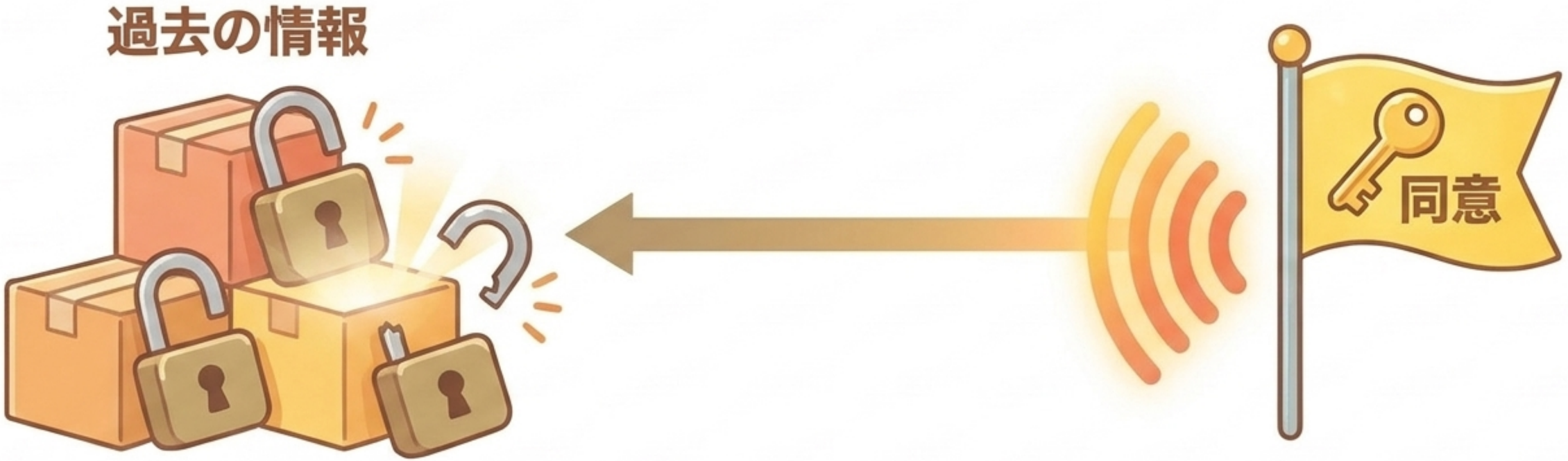


Gemini Notebook

Q 包括同意をすると、過去の情報も見られるようになりますか？

A はい、見られるようになります。

包括同意の有効期間中は、同意を取得する前の「過去の情報」もさかのぼって閲覧可能です。



Gemini Notebook

Q 同意が得られない場合、情報はどうなりますか?

A 介護事業所側からは、対象者の情報が閲覧できなくなります。

後から同意が得られ、システムに登録されれば、再び閲覧可能になります。



Gemini Notebook

Q 包括同意は市町村の窓口（申請書）でしか取得できませんか？



A 介護事業所（ケアマネジャー等）が取得することも可能です。

「介護WEBサービス」を利用して、事業所側で同意をシステムに直接登録できます。



Gemini Notebook

Q 介護WEBサービスで同意を得る場合、書面の記入は必須ですか?

A 口頭での同意確認で登録が可能です。利用者に口頭で確認し、その結果を

事業所がWEBサービス上で直接登録・管理します。



Gemini Notebook

包括同意の3つのポイント

- 【開始】令和8年（2026年）4月1日の申請から新様式へ



- 【効果】一度の同意で過去のデータも含めて全体で共有



- 【手段】窓口だけでなく、介護WEBサービス（口頭）でも登録可能



Gemini Notebook